

直正・光秀ゆかりの人々

●黒井城下で過ごした「春日局(お福)」と斎藤利三



© 2018 中川英明

NHK大河ドラマのヒロインにもなった春日局は、1579年(天正7)に黒井城下に生まれたとされる。父親である斎藤利三は、明智光秀の重臣として活躍した戦国武将である。光秀の丹波平定後、黒井城を与えられて城主となった。利三は山城のふもとにある下館(興禅寺)を陣屋として妻子を呼び寄せ、西丹波を統括した。この頃、幼名をお福といった春日局が誕生し、3歳までを黒井城下で過ごしたとされる。その後、徳川二代将軍・秀忠の嫡子・竹千代(後の家光)の乳母(養育係)に任命され、大奥の基礎を築いたのであった。

居館であった興禅寺には、お福が初湯に使ったと伝わる「産湯井戸」や、腰をかけて遊んだと伝わる「腰掛け石」といったゆかりの場所が残されている。

また、JR黒井駅前の広場には「お福の像」が建立されており、春日地域のシンボルとして市民に親しまれている。



© 2014 中川英明



興禅寺/お福の腰掛け石



興禅寺/お福の産湯井戸

●直正と共に明智軍を破った「波多野秀治」

丹波の名族・波多野氏最後の当主である秀治は、八上城(兵庫県篠山市)を居城として、丹波に勢力を誇った。始めは織田信長に従い、光秀軍に加わったが、黒井城攻めに際して、突如反旗をひるがえし、光秀の軍勢を打ち破った。その後、体制を整えた光秀軍の数度に及ぶ猛攻に耐えたとされる。1579年(天正7)、ついに落城し、安土城に送られて処刑。その際、秀治の助命を保証するため、光秀の母が人質となったが、信長の約束違反によって殺されてしまうという悲話が伝承として残る。しかし、真偽の程は定かでない。



高城山山頂にある八上城跡と秀治の石碑(兵庫県篠山市)



© 2014 中川英明

ドラマを彩るゆかりの人々

●悲劇のヒロイン「細川ガラシャ(明智玉)」

悲劇のヒロインとして知られる細川ガラシャ。明智光秀の娘・玉として生まれ、父の盟友である細川幽斎の嫡男、忠興に嫁いだ。玉の運命を変えた大事件が、本能寺の変。「逆臣の娘」とされ、京丹后市味土野の山中に幽閉されることになった。その後、豊臣秀吉の取りなしもあり、許された玉だったが、監視下に置かれる日々だったという。

そんな玉の心を癒したのが、キリスト教との出会い。ガラシャという洗礼名を授かるが、さらなる悲劇が彼女にふりかかる。関ヶ原の戦いで東軍についた細川家に対し、西軍方は大坂屋敷にいたガラシャを人質に取る。しかし、忠興の教えを守って人質を拒絶したガラシャは、キリスト教の洗礼を受けていたため自害せず、家臣に胸を貫かせて壮絶な最期を遂げたという。

夫婦



© 2014 中川英明

●光秀の盟友

「細川幽斎」

親子

●戦国の猛将

「細川忠興」

明智光秀の盟友で、親戚でもあった細川幽斎(藤孝)・忠興親子。ともに有能な武将であり、教養の高い文化人としても知られる。光秀の助力もあって丹後南部を平定し、宮津城主となる。本能寺の変では光秀の協力要請を断り、信長の死に哀悼の意を示して中立の立場をとった。その後、豊臣秀吉、徳川家康に重用され、現在も続く肥後細川家の礎を築いた。



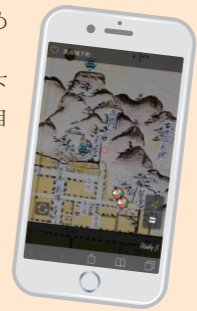
© 2014 中川英明

ゆかりの地を歩く 《春日町黒井》

戦国時代へバーチャル体験

古地図アプリで、黒井城下町を歩こう!!

丹波市春日町黒井には、戦国時代からの歴史や敵の侵入を防ぐために入り組んだ道があり、戦国時代の名残がそのまま残っています。この古地図アプリはスマートフォンやタブレットを使用して、黒井城下町の古地図上にGPS運動で現在地が表示されるため、より興味深く、自分のペースで古地図を使ったまち歩きを楽しむことができます。ダウンロードする必要もなく、右記のQRコードにアクセスするだけ。さあ、あなたも古地図アプリで時の旅人になろう!!



【料】無料(古地図アプリ使用に伴う通信料は個人負担となります)
【問】丹波市観光協会「お福ちゃんガイドの会」TEL.0795-70-3501

2020年の大河ドラマ放映決定!!
明智光秀ゆかりの地を歩く

「古地図」で巡る城下町黒井

周遊コース

- JR黒井駅 ▶ 西地下 ▶ 常住寺跡 ▶ 兵主神社 ▶ 福ヶ坂 ▶ 興禅寺 ▶ 枯れない水場 ▶ 井戸 ▶ 根小屋 ▶ 的場 ▶ 道標の地蔵

ダウンロードの必要なし
QRコードにアクセスするだけ→

※歩きながらのスマートフォン操作は大変危険です。交通ルールを守り、安全に配慮してご利用ください。



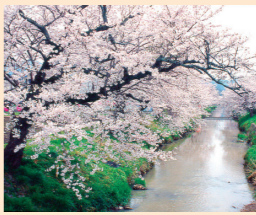
●黒井城まつり

国指定史跡・黒井城跡の遺産を活かした歴史と文化を育む事業として武者行列、戦国太鼓、黒井城登山、「黒井城まつり」を開催します。
[所]黒井小学校グラウンド
[時]毎年11月・第2土曜日(予定)



●春日歴史民俗資料館

旧石器から近世・近代に渡る春日地域の資料を展示。黒井城関連資料や、近衛前久、長沢芦州などの書画も展示。
[所]丹波市春日町黒井496-2
[時]9~17時(土・日・祝) [料]大人200円
[問]0795-70-0819(丹波市教育委員会)



●黒井川の桜づつみ

丹波市役所春日庁舎の北側、春日地域の中心を流れる黒井川の堤防沿いには、約500本の桜が咲き誇る。数百年の歴史にも渡る桜のトンネルは絶景。見頃は例年、4月上旬から中旬頃。
[所]丹波市春日町黒井/黒井川沿い



●道の駅丹波おばあちゃんの里

舞鶴若狭道、北近畿豊岡道「春日IC」すぐ。地元産の新鮮野菜や特産品などを販売。黒豆の焼ききたてパンやジェラートも人気。
[所]丹波市春日町七日市710
[時]8時30分~18時30分(冬季は18時)
[休]無休 [問]0795-70-3001

兵庫県丹波市 交通アクセス



《車を利用する場合》

- 大阪方面
中国道「池田IC」→「吉川JCT」→舞鶴若狭道「春日IC」→R175
- 京都方面
神戶高速「京都東IC/京都南IC」→新名神「高槻JCT」→「神戸JCT」→中国道「吉川JCT」→舞鶴若狭道「春日IC」→R175
- 神戸方面
六甲・六甲北有料道路→中国道「神戸三田IC」→「吉川JCT」→舞鶴若狭道「春日IC」→R175
- 姫路方面
山陽道「姫路東IC」→「神戸JCT」→中国道「吉川JCT」→舞鶴若狭道「春日IC」→R175

《鉄道を利用する場合》

- 京都・大阪方面
JR京都駅→JR大阪駅(宝塚線・福知山線)→JR黒井駅(快速)
- 神戸方面
神戸電鉄 新開地駅→三田駅(JR乗換)→JR篠山口駅→JR黒井駅(快速)
JR神戸駅→JR尼崎駅(福知山線に乗換)→JR黒井駅(快速)

監修

渡邊 大門(歴史学者)
(株)歴史と文化の研究所 代表取締役
日本中世史が専門。西国大名をメインに、近畿、中国地方を研究のフィールドとしている。戦国時代にまつわる著作も多数出版。

《発行》丹波市 兵庫県丹波市 恐竜・観光振興課

〒669-3198 兵庫県丹波市山南町谷川1110番地(丹波市役所山南庁舎内)
TEL.0795-78-9400 <https://www.city.tamba.lg.jp/>

《協力》大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会 光秀・ガラシャ・幽斎・忠興

<https://taiga-kiringakuru.com/>



大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会

検索

発行日:平成31年3月発行